

ラゴスクス。恐竜に進化する直前の種類です



始まりと終わり。  
 ほんなことでもその部分が一番おもしろいと言いますよね。  
 恐竜時代の終わりとさえは600万年前。「空から巨大な隕石が落ちてきて…」はほとんど定説で、今は、隕石が落ちてからどんな影響が広まったのかが詳しく研究されています。

では恐竜時代の始まりは？  
 2億3千万年前で三畳紀とよばれる時代の中頃です。  
 そのころの恐竜の祖先が写真①のラゴスクスです。「えっ？恐竜の始まりはこんななの？」と思いませんか？ 全長約30センチ。ちっとも強そうじゃないですね。でもいざとなれば2本足

## 2本足で走れるように進化



世界最大級の、恐竜足跡の「足型」です

プレストスクスの頭骨を持つ復元骨格構造担当の岡山理科大4年・波多江優介君。4本足。低い姿勢で結構こわい  
 で走れたことがその後の発展につながりました。逃げ足も速いし、小さな獲物を捕まえることにも有利ですよ。

で、この時代の一歩の強者は恐竜ではなくて写真②のプレストスクス(全長約5び)など「偽鱗類」とよばれる現在のワニに近い仲間でした。恐竜はこれらの強者の陰でひっそりその歴史を歩み始めたのです。  
 いま、岡山理科大の学生たち

がこのプレストスクスの骨格復元に取り組んでいます。来年の3月にはちっちゃなラゴスクスと一緒に「恐竜時代のあけぼの」の展示が完成しますから見に来てください。

ちなみにその展示予定スペースには現在、モンゴルで見つけた世界最大級の巨大な、恐竜足跡の「足型」が展示中です。今年、東京で開かれた「恐竜博2019」で岡山理科大が展示協力しているのです。こちらもぜひ見に来てください。

## 恐竜調査隊が行く

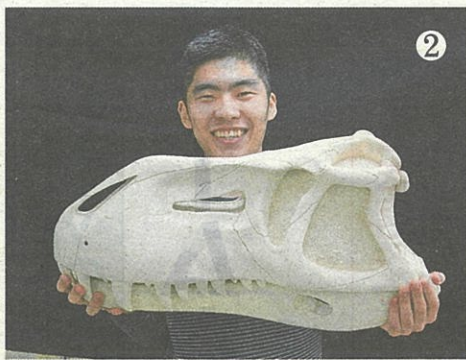
岡山理科大教授・石垣憲



小さくて目立たなかった恐竜の祖先

まめ ち し ぎ 豆 知 識

三畳紀(約2億5000万年前~2億年前) 中生代のはじめの時代の名前。このあと「ジュラ紀」「白亜紀」と有名な名前が続きます。地層のグループが、三つ積み重なっているのので、「重なる」という意味の「疊」が三つで三畳紀。畳が3枚ではありません。



2